



現状・取り組み



『いいね! ボタンを押す前に ジェンダーから見るネット空間とメディア』

李 美淑//〔ほか〕著 亜紀書房 007.3/イ/

SNSで炎上しない、人を傷つけない、無意識に差別しないためにはどんな点に気をつければいいのか。ジャーナリスト、研究者、エッセイストらが今のネット空間を徹底解説し、SNSユーザーの基礎知識を紹介します。

『男性中心企業の終焉』

浜田 敬子//著 文藝春秋 336.4/ハ/

ジェンダーギャップが日本に根強く残るのはなぜか。メルカリ、富士通、キリン、丸紅など、働き方、価値観、組織を本気で変えようとする日本型企業の奮闘を、自身の体験を交えながら描き出す。

『ハラスメント対応の法律相談』

中井 智子//編著 青林書院 366.3/ナ/

セクハラ、マタハラ、パワハラの特徴を整理し、法制度の概要を解説。ハラスメント問題の予防から事後対応策まで、これまでの裁判例から実務に役立つ判断部分を取り上げながら、わかりやすく解説しています。

『男性危機? 国際社会の男性政策に学ぶ』

伊藤 公雄//〔ほか〕著 晃洋書房 367.5/メ/

根本的に揺らごうとしている男性主導社会。女性学・男性学研究の両方の成果をふまえ、多様な性に関わる議論も視野に入れながら、ジェンダー平等を促進し、同時に男性たちの「危機」を緩和していくための具体的政策を提言しています。

男女共同参画 ブックリスト

2022年度 下半期購入分
三条市立図書館

貸出中の場合はご予約できます。
カウンターまでお申し出ください。

『そろそろいい歳というけれど』

ジェラシーくるみ//著 主婦の友社 159.6/ジ/

「今すぐ誰かの妻にはなりたくないけど1人で生きる覚悟もない」
出産の限界と育児の大変さ、忍び足でやってくる老いとの付き合い方など、アラサー女子に降りかかる無為な焦りへの対処法や悪あがきを綴っています。「お悩み相談室」も収録。

『思い込みにとらわれない生き方』

坂東 眞理子//著 ポプラ社 159.6/バ/

「思い込みがない」こそ、一番の思い込み。夫婦の役割、働き方、恋愛、結婚、老後生活など、人を縛る「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」から解放されて、豊かな人間関係を築くための生き方を指南しています。

『父ではありませんが 第三者として考える』

武田 砂鉄//著 集英社 367.3/タ/

「子どものいないあなたにはわからない」と言われるけれど…。父ではない著者が、第三者だからこそ見えてくる「家族」をめぐる言説への違和感に迫る。

『モラハラ夫と食洗機 弁護士が教える15の離婚事例と戦い方』

堀井 亜生//著 小学館 367.3/ホ/

2000件超の離婚・恋愛トラブルを扱ってきた著者が、15の離婚事例をもとにモラハラ夫との戦い方をまんがを交えて解説します。なぜそのようなモラハラ夫が生まれてしまったのかも分析しています。

『好きのありかた』

佐々木 掌子//監修 国土社 児童367/ス/

柔らかいイラストやマンガを通して、学校や友人関係などで生じる具体的な悩みや疑問を1つずつ丁寧に紹介していきます。
思春期の読者が自分と他人の性を大切にしていけるよう、さまざまな性のありかたを学ぶことができる『LGBTだけじゃない！わたしの性』シリーズ（全4巻）です。

『ジェンダーがよくわかる本 多様性の時代のリテラシー』

瀬地山 角//著 中村 圭//著 秀和システム 367.1/セ/

ジェンダーに関する無理解は、ビジネスの世界で致命的なミスにつながりかねない。ジェンダーになじみの薄い人を念頭に、ジェンダーの基本を図表を交えわかりやすく解説しています。職場や家庭でよりよい関係を築くための知識が身に付きます。

『10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」』

森山 至貴//著 WAVE出版 367.1/モ/

「男は度胸、女は愛嬌でしょ」「女性のわりには話が通じるね」など、押し付けや軽視がひそむ言葉に傷つけられないために。差別を考える社会学者が、女性が浴びせられがちな「ずるい言葉」から逃れる手がかりを伝授します。

『きみの人生はきみのもの 子どもが知っておきたい「権利」の話』

谷口 真由美//著 荻上 チキ//著 NHK出版 T369/タ/

「心」「体」「お金」にかかわる悩みや問題を取り上げ、子どもの「権利」を紹介しながら解決への道を示しています。相談先や専門機関も掲載。